

議長	副議長	局長	次長	係長	係長
委員長	副委員長	副委員長	書記		

会 議 記 録					
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所	第3委員会室
				担当職員	鈴木 智
日 時	令和2年12月24日(木曜日)		開 議	午後	4時 15 分
			閉 議	午後	4時 43 分
出席委員	◎小川 ○三上(広報部会長) ○赤坂(広聴部会長) 富谷 浅田 大塚 木村 三宅 松山				
事務局出席者	山内事務局長、熊谷総務係長、鈴木議事調査係長、小野主任、山内主事				
傍聴	可	市民0名	報道関係者0名		議員 0名(-)

## 会 議 の 概 要

16 : 15

[小川委員長 開議]

### 1 広聴部会活動

(1) 南丹高校生との意見交換会について

[赤坂副委員長 説明]

・南丹高校生との意見交換会については、高校生と広聴部会の委員により1月末から2月中旬までに実施したいと考えている。テーマは未定である。新型コロナウイルスのこともあり、実施できるかどうかについては未定である。後日、南丹高校から連絡が入ることになっている。

(2) こども議会について

[赤坂副委員長 説明]

・1月14日に予行演習、1月19日に本番を実施する予定である。実施することとなれば、後日各委員に連絡する。

(3) アンケート集計内容について

[赤坂副委員長 説明]

・資料は、12月4日時点のアンケート結果である。すべての結果が出てから、広報広聴会議で説明したい。

<三宅委員>

次回はテーマを設けて実施するのがよいと考える。

<小川委員長>

アンケート用紙に内容を公表するとは記載していないのか。

<総務係長>

記載していない。

<赤坂副委員長>

こども議会を実施する場合、議員は傍聴してもらえばよいと考えている。

<三上副委員長>

共産党議員団では、議員は拘束されず、傍聴してもらえばよいと話をしている。

## 2 その他

[三上副委員長 説明]

- ・議会だよりNo.187は、1月31日発行、2月1日全戸配布予定である。現在の委員で最後の議会だよりの編集となる。表紙は鬼滅の刃風に、あまり過激にならないように編集していきたい。No.186の表紙を週刊誌風にしたが、今後も続けていきたいと考えている。例えば、児童生徒の絵を掲載していくこと等、方向性を考えていきたい。また、吉川小学校のこども議会の記事を掲載したいので、事前に作成して写真を差し込めば完成するようにしていきたい。その他の記事としては、広報広聴会議の正副委員長で対談し、これまでの活動を総括する内容としたい。また、広報広聴会議委員のコメントを掲載する。アンケートについては、議会活動に関する内容であれば、掲載してもよいのではないかと考える。

<小川委員長>

各委員は、コメントを考えていただくよう協力いただきたい。

<三上副委員長>

吉川小学校のこども議会を掲載することについては、保護者の了解を得るように学校長をお願いに行った。

<赤坂副委員長>

広報広聴会議を、常任委員会にできないかと考えている。次の委員に渡せるようにすべきだと考えている。

<三上副委員長>

常任委員会にできるかは別として、できるだけ同じ議員が広報広聴会議委員になればよいということだと思う。

<小川委員長>

できるだけこのメンバーが、引き続き広報広聴会議委員になればよいということである。常任委員会にするデメリットもあるので、今後、検討できればよいと考える。

散会 16:43